

難関大学入学を目指す留学生のための特進別科！

MJI 2025

日本語
+
受験科目
指導

Musashino University
Japanese Language Program
for International Students

武蔵野大学別科 (日本語教育課程)

bekka.musashino-u.ac.jp

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



Musashino University
武蔵野大学

学部進学指導

学部進学コースでは、「日本留学試験対策」、「大学個別二次試験対策」「TOEFLiBT 対策」の3つのカリキュラムを中心に、志望校に合格するための進路及び出願指導を進めていきます。

日本留学試験(EJU)対策

日本の大学への留学を実現するためには、「日本留学試験 (EJU)」の構成を把握し、学習指針を立案することが肝要です。この試験は大きく、「日本語」、「数学」、「理科 (物理・化学・生物から2科目選択)」、「総合科目 (歴史・地理・政治・経済)」の4つの科目から構成されており、進学したい学部の系統 (文系・理系) により受験科目を選択して受験します。

文系=日本語 450点+文系数学 200点+総合科目 200点=850点

理系=日本語 450点+理系数学 200点+理科 (物理・化学・生物から2科目選択) 200点=850点

科目		試験時間 (分)	配点			
			全体	文系	理系	
日本語	各出題形式を 全て受験	読解	40	200	450	
		聴解・聴読解	55	200		
		記述	30	50		
数学	いずれかを選択	文系数学	80	200	200	-
		理系数学		200	-	200
総合科目	これらの範囲を 全て含む	日本史・世界史	80	200	200	-
		日本地理・世界地理				
		日本経済・世界経済				
		日本政治・世界政治				
理科	2科目を選択	物理	80	100	-	100×2=200
		化学		100		
		生物		100		
合計				850	850	

※旧帝国大学を目指すなら 750 点、東京大学を目指すなら 800 点が必要。

1) 日本語試験の概要と学習指針

日本語試験は、①速読+文意選択40問からなる「読解」(30分、200点)、②比較的短い文章のヒアリング+文意判断20問からなる「聴解」と中程度の長さの文章ヒアリング+文意判断30問からなる「聴読解」(聴解・聴読解合わせて55分、200点)、③500文字程度の文章を作る「記述」(30分、50点)の3つの出題パートから構成されます。

この試験で問われる能力は、みなさんご存知の「日本語能力試験 (JLPT)」とは違い、大学での授業理解のための日本語能力が問われることとなるため、それぞれの出題パートに合わせた、長文読解力、聴解力、テンプレートを活用したアウトプット力等、身につけるべきポイントを整理した上で、高得点獲得を実現していきます。

2) 数学試験の概要と学習指針

文系数学、理系数学共に、出題は日本の高校の指導要領の範囲で行われます。

出題範囲が日本基準であるため、各国の高校の指導要領範囲に含まれない分野、いわゆる未学習分野が含まれます。また文章問題が比較的多く出題されること、さらにグラフや図形を自ら表記し、回答方法自体を考えさせるといふ、日本独特の応用問題形式も比較的多く見られます。

これらの出題に対応していくため、未学習分野の早期習得を行った後、数学へのアプローチ方法を学び、回答を導き出すための考え方＝いわゆる“コツ”を養い、何度も何度も反復形式で基礎問題から応用問題に接することで、数学能力の向上を実現していきます。

3) 総合科目試験の概要と学習指針

総合科目の出題も日本の高校の指導要領の範囲で行われます。歴史・地理・経済・政治の4つのカテゴリーから、世界と日本という視点で問題が構成されます。

歴史及び地理は母国で学んだ知識を日本語に置き換え、さらに日本の歴史と地理の情報を付加していく作業がおもな学習となっていくでしょう。一方、経済や政治は、今までの知識とは異なる情報が中心になることもあります。いずれにしても、過去の出題傾向を知り尽くした指導陣が、的確に出題ポイントを絞って指導していきますから、情報の一つずつ積み上げて、より多くの知識をインプットしていきましょう。

4) 理科試験の概要と学習指針

理科は、物理・化学・生物の3科目から2科目を選択して受験、これらの科目の出題も日本の高校の指導要領の範囲で行われます。

物理は前述の数学と状況は共通しており、各国の指導要領に含まれない部分を集中的に学習した後、文章題や回答法を自ら導き出す問題への対応力を反復的に磨きます。化学及び生物も同様に未学習部分を学習した後、母国で学習した知識を日本語に置き換えていく作業が必要となってきます。

最短180日で上級日本語能力習得を実現する (JJLM)

大学選抜試験対策授業を受講するためには、まずは、「日本語能力試験 (JLPT)」のN2 レベル習得が不可欠となります。

ですから、難関大学合格実現のため、できるだけ早期に、必要ツールである“日本語”を習得しなければなりません。

通常、日本語学校では、午前または午後だけの授業となるのが一般的で、1年半から2年かけて上級日本語能力を習得することになりますが、MJJ では、意識の高い学生の、難関大学合格への意欲に応えるため、90分の講義を1日4コマ、半年間で500コマもの授業を集中的に提供していきます。

初級レベルで来日し、MJJ に入学した学生でも、この6ヶ月の短期集中学習プログラムを受講することで、上級日本語能力を身につけることができます。

10月生は翌年4月までに上級日本語能力を身につけ、4月以降の大学選抜試験対策授業を受講し、難関大学合格を実現していきます。

このプログラムは、漢字圏の学生に向けたプログラムで、できるだけ効率よく日本語を学習することを目的としており、初級から上級まで、頻出文法や単語を場面毎のタスクでまとめて学習する、独自タスクシラバスメソッドを活用、効率的な学習+予習・復習&単元チェックテストで、「日本語能力試験 (JLPT)」のN2レベル習得を半年間で実現します。

先進の日本語学習プログラム JJLM

★ JCAEMCE JAPANESE LANGUAGE METHOD

この日本語教育メソッドは、「一般財団法人日中亜細亜教育医療文化交流機構」が開発、アジア各国の漢字圏の学生を対象に実施している「日本大学連合学力試験」の合格者に提供している半年間の日本語学習プログラムです。

★ 海外各拠点で受講することもできます。

この短期集中日本語学習プログラムは現在、上海、香港、台北で受講することができます。MJJ 入学以前に各地区の教室で当該プログラムを受講し、入学後「日本留学試験 (EJU)」や「TOEFL iBT®」対策に集中していくことも可能です。

ご希望の方は、パンフレット掲載の各地のオフィスにご相談ください。



★ 合格実績 2018年度～2024年度

国公立大学：北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、九州大学、北見工業大学、秋田大学、山形大学、筑波大学、千葉大学、埼玉大学、東京工業大学、東京医科歯科大学、東京都立大学、横浜国立大学、横浜市立大学、新潟大学、金沢大学、名古屋工業大学、信州大学、広島大学、高知大学、長崎大学、鹿児島大学、尾道市立大学 他

私立大学：早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学、青山学院大学、中央大学、芝浦工業大学、立命館大学、日本大学、駒澤大学、武蔵野大学 他

「JJLM」受講者の声

鄭宇恆／台北

2019年4月
千葉大学 工学部総合工学科
共生応用化学コース入学
2018年5月 JPUE 一次合格



2018年5月、台北で「日本大学連合学力試験」を受験、この試験を通して「千葉大学工学部」の一次合格オファーを受けた。受験時から理系科目については自信があったが、問題は日本語。それまで全く日本語に縁はなかったが、合格後約6か月、1日90分授業4コマを集中的に受講、帰宅後の復習・予習にも真摯に向き合うことで、当時全く話せなかった私が、たった6か月でN2レベルの日本語を修得することができた。この「JJLMカリキュラム」は、毎日異なるシチュエーションを、読む、聴く、話す、書くの4技能全てを駆使して、集中的に習得していく、今までにはなかったとても効率的な言語習得カリキュラムだと感じた。

Elston Lee／マレーシア

2017年4月：武蔵野大学
グローバル学部
グローバルビジネス学科入学
2015年12月 JPUE 一次合格



2016年5月、クアラルンプールで「日本大学連合学力試験」を受験、「武蔵野大学グローバル学部グローバルビジネス学科」の一次合格オファーを受けることができた。マレーシア人は子供の頃から、マレー語、英語、そして私たち華僑はマンダリンに広東語まで、たくさんの言語を自然に習得しているが、日本語は全くノーモークだった。しかし、2か月もすると、タスクシラバスという独特のカリキュラムが頭に入ってくるようになり、読む、聴くだけではなく、話す、書くのアウトプット技能も、いつの間にか身についていた。

朱 鈴蔚／中国

2019年4月：芝浦工業大学
システム理工学部生命科学科
(生命科学コース) 入学
2018年12月 JPUE 一次合格



2018年12月、上海で「日本大学連合学力試験」を受験、「芝浦工業大学システム理工学部」から一次合格を受けた。受験時、私は既に初級日本語はできているつもりだったが、それは中国式の検定対策、「文法」や「読解」が中心の処理能力でしかなかったため、実際に授業が始まると、「聞く」「話す」そして「書く」という運用面が非常に求められ、最初は苦労した。自宅では、映像授業や補助教材で語彙や文型を吸収し、それを授業ではとにかく使う、先生やクラスメイトと色んなシーン、パターンで活用し反復する訓練。このおかげで、真の日本語能力、大学で勉学ができるまでに成長することができたと思う。

学部進学指導

学部進学コースでは、「日本留学試験対策」、「大学個別二次試験対策」「TOEFLiBT 対策」の3つのカリキュラムを中心に、志望校に合格するための進路及び出願指導を進めていきます。

日本留学試験 (EJU)対策

日本の大学への留学を実現するためには、「日本留学試験 (EJU)」の構成を把握し、学習指針を立案することが肝要です。この試験は大きく、「日本語」、「数学」、「理科 (物理・化学・生物から2科目選択)」、「総合科目 (歴史・地理・政治・経済)」の4つの科目から構成されており、進学したい学部の系統 (文系・理系) により受験科目を選択して受験します。

文系 = 日本語 450点 + 文系数学 200点 + 総合科目 200点 = 850点

理系 = 日本語 450点 + 理系数学 200点 + 理科 (物理・化学・生物から2科目選択) 200点 = 850点

科目		試験時間 (分)	配点			
			全体	文系	理系	
日本語	各出題形式を 全て受験	読解	40	200	450	
		聴解・聴読解	125	200		
		記述	30	50		
数学	いずれかを選択	文系数学	80	200	200	-
		理系数学		200	-	200
総合科目	これらの範囲を 全て含む	日本史・世界史	80	200	200	-
		日本地理・世界地理				
		日本経済・世界経済				
		日本政治・世界政治				
理科	2科目を選択	物理	80	100	-	100×2=200
		化学		100		
		生物		100		
合計				850	850	

※旧帝国大学を目指すなら 750点、東京大学を目指すなら 800点が必要。

1) 日本語試験の概要と学習指針

日本語試験は、①速読+文意選択40問からなる「読解」(30分、200点)、②比較的短い文章のヒアリング+文意判断20問からなる「聴解」と中程度の長さの文章ヒアリング+文意判断30問からなる「聴読解」(聴解・聴読解合わせて55分、200点)、③500文字程度の文章を作る「記述」(30分、50点)の3つの出題パートから構成されます。

この試験で問われる能力は、みなさんご存知の「日本語能力試験 (JLPT)」とは違い、大学での授業理解のための日本語能力が問われることとなるため、それぞれの出題パートに合わせた、長文読解力、聴解力、テンプレートを活用したアウトプット力等、身につけるべきポイントを整理した上で、高得点獲得を実現していきます。

2) 数学試験の概要と学習指針

文系数学、理系数学共に、出題は日本の高校の指導要領の範囲で行われます。

出題範囲が日本基準であるため、各国の高校の指導要領範囲に含まれない分野、いわゆる未学習分野が含まれます。また文章問題が比較的多く出題されること、さらにグラフや図形を自ら表記し、回答方法自体を考えさせるという、日本独特の応用問題形式も比較的多く見られます。

これらの出題に対応していくため、未学習分野の早期習得を行った後、数学へのアプローチ方法を学び、回答を導き出すための考え方をいわゆる“コツ”を養い、何度も何度も反復形式で基礎問題から応用問題に接することで、数学能力の向上を実現していきます。

3) 総合科目試験の概要と学習指針

総合科目の出題も日本の高校の指導要領の範囲で行われます。歴史・地理・経済・政治の4つのカテゴリーから、世界と日本という視点で問題が構成されます。

歴史及び地理は母国で学んだ知識を日本語に置き換え、さらに日本の歴史と地理の情報を付加していく作業がおもな学習となっていくでしょう。一方、経済や政治は、今までの知識とは異なる情報が中心になることもあります。いずれにしても、過去の出題傾向を知り尽くした指導陣が、的確に出題ポイントを絞って指導していきますから、情報を一つずつ積み上げて、より多くの知識をインプットしていきましょう。

4) 理科試験の概要と学習指針

理科は、物理・化学・生物の3科目から2科目を選択して受験、これらの科目の出題も日本の高校の指導要領の範囲で行われます。

物理は前述の数学と状況は共通しており、各国の指導要領に含まれない部分を集中的に学習した後、文章題や回答法を自ら導き出す問題への対応力を反復的に磨きます。化学及び生物も同様に未学習部分を学習した後、母国で学習した知識を日本語に置き換えていく作業が必要となってきます。

大学個別二次試験対策

第4学期の「大学個別二次試験」対策授業については、前述の様に各学生の志望に応じて受験しなければならない科目が異なるため個別対策授業を提供しています。

面接	小論文	科目筆記試験
<p>外国人留学生を対象とした選抜試験のほぼ全てに取り入れられている面接試験。この面接試験では、志望する大学及び学部学科で何を勉強して、そして将来、その学びをどのように活用したいのか、明確に表現できることが非常に重要です。大学合格への熱意を伝えるとともに、自分の考え方を正確に表現できることが重要です</p> <p>留学生入試～「面接試験」で必ず聞かれる質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本留学の目的は何ですか？ ● なぜこの大学を選びましたか？ ● なぜこの学部学科を選択しましたか？ ● 大学に入学後、何を学びたいですか？ ● 卒業後の進路は決まっていますか？ 	<p>留学生の日本語による文章構成力を確認するために小論文試験を採用する大学は年々増えてきています。小論文試験の出題形式は複数ありますが、いずれの場合も、一定の状況を示した後、その状況に対する意見を求めてくる場合が多い様です。</p> <p>ここで、論理的にあなたの意見・主張を述べるための構成力と文章力が求められる事となります。私共別科では、日々大学で学術的な論文を執筆している大学教授が高評価する、日本語での論文作成ノウハウを伝授していきます。</p>	<p>面接試験・小論文試験に加えて、二次試験でも、科目試験を課す大学もあります。日本留学試験の科目試験と比較する大学の個別二次試験の難易度は非常に高くこれらの大学を志望する場合別途対策授業を受講する必要があります。</p> <p>特に理系の難易度の高い大学では、個別二次試験受講を義務付ける大学が多くあります。</p>

英語指導「TOEFL iBT®」対策

日本の大学、中でも難関大学を目指すなら、英語能力証明試験「TOEFL iBT®」受験が不可欠です。MJJでは、英語教師によ

セクション	問題数	内容	制限時間	スコア
Reading	36～56問	アカデミックな長文読解問題	80	30
Listening	34～51問	講義形式問題と複数人数による会話問題	90	30
Speaking	6問	Independent Task (身近なトピックに対して口答で解答)	20	30
		Integrated Task (読み聴いた内容に関する質問に口答で解答)		
Writing	2問	Independent Task (与えられた身近なトピックに関して作文)	50	30
		Integrated Task (読み聴いた内容に関する問題に対し作文)		
合計			240	120

※旧帝国大学を目指すなら 80 点以上、東京大学を目指すなら 100 点以上のスコアが必要。



毎日の時間割イメージ（学部進学の場合）

MJIの年間カリキュラムは、4セメスター期で構成されており、時間割は学期毎に変わります。

4月生（1年課程）は入学時に、10月生は入学翌年の4月までに、「日本語能力試験（JLPT）」のN2レベル習得が義務付けられ、4月以降は、下記4つの学期毎に定められたカリキュラムを受講し志望校合格を目指します。

第1セメスター	「第一回日本留学試験（EJU）」に向けた10週間のEJU短期集中講義
第2セメスター	弱点科目の集中対策を進める8週間の少人数・個別対応指導
第3セメスター	「第二回日本留学試験（EJU）」に向けた10週間のEJU短期集中講義
第4セメスター	各大学個別の二次試験の対策講座

第1セメスターの時間割イメージ（学部進学の場合）

時限	時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1限	09:00～10:30	EJU対策 日本語	EJU対策 日本語	EJU対策 日本語	EJU対策 日本語	EJU対策 日本語	TOEFL iBT® 対策 Reading
2限	10:40～12:10	EJU対策 日本語	EJU対策 日本語	EJU対策 日本語	EJU対策 日本語	EJU対策 日本語	TOEFL iBT® 対策 Writing
昼休	12:10～13:00	昼休					
3限	13:00～14:30	EJU対策 (数学文/理) OR 大学院対策	EJU対策 (総合科目/理科) OR 大学院対策	個別指導	EJU対策 (数学文/理) OR 大学院対策	EJU対策 (総合科目/理科) OR 大学院対策	TOEFL iBT® 対策 Listening
4限	14:40～16:10	EJU対策 (数学文/理) OR 大学院対策	EJU対策 (総合科目/理科) OR 大学院対策	個別指導	EJU対策 (数学文/理) OR 大学院対策	EJU対策 (総合科目/理科) OR 大学院対策	TOEFL iBT® 対策 Speaking
5限	16:20～17:50	EJU対策 (総合科目/理科) OR 大学院対策	EJU対策 (数学文/理) OR 大学院対策	個別指導	EJU対策 (総合科目/理科) OR 大学院対策	EJU対策 (数学文/理) OR 大学院対策	
放課後	18:00～21:00	自習					

※10月生は入学翌年の4月以降、新4月生（1年課程）に合流するため、入学後は基礎から上級日本語能力習得のための1日5コマの集中講義を受講します。
なお、「TOEFL iBT®」対策講座は必要に応じて受講することもできます。

経験豊かな教諭陣が学生を導きます



教務主任 大江 慎一
Shinichi OE

別科（日本語教育課程）教務主任
中国及び国内での指導・管理経験豊富

せっかく日本語を勉強しているんだから、間違ってもいいから、どんどん使ってみて下さい。胸を張って間違えられるのは、初級の時期だけです。恐れずに、口から日本語を出してみましょー！！



主任(大学院進学指導) 王 智新
Wang Zhixin

別科（日本語教育課程）主任
（大学院進学指導）
東京大学教育学博士

優れた学力や人間力を養うことが、夢の大学に進む唯一の道といえます。本別科ではこれを育むべく、価値あるカリキュラムを用意しています。ここでの「学び」を通じて、受験はもちろん、人として成長されることを期待します。教職員一同、異文化教育のファシリテーターとして、皆さんが安全にそして目標に向えるようリードします。



理系科目主任 佐々木 克己
Katsumi SASAKI

別科（日本語教育課程）理系科目主任
東京大学教養学部教養学科専
国内進学高校での進学指導経験豊富

日本の大学の理学部・工学部などでは、高校で微積分まで履修していることを前提に授業が行なわれています。「日本留学試験」でも、それを前提に出題されます。したがって、私どもの別科では、この微積分の問題に対応できるように、微積分の基礎から授業を行います。別科での勉強を通じて志望校合格の夢を実現しましょう。

大学への出願は、まず志望校を選定することから始まります。将来の夢、就職したいと考えている業界や企業等を考慮、まずは大学で学習すべき専攻分野を決定します。一方、現在の学力と大学毎の難易度、地域や立地、必要なコスト、留学生サポートの状況など、さまざまな情報を総合的に検討し、志望校を絞り込みます。

志望校への出願

日本の大学への出願は、アメリカやイギリスのような全大学共通の出願プラットフォームから行うのではなく、各大学それぞれが準備している「出願用紙」や「出願 WEB サイト」を使用し、大学毎に進める必要があります。「出願用紙」や「出願 WEB サイト」には、個人情報や学歴情報を記載するとともに、各大学が定めた必要書

類の添付が必要となります。添付書類には、高校の卒業証明書や成績証明書等の他、志望理由書やエッセー、前述の「日本留学試験」の成績を照合するための受験者情報や、英語力を照合するための「TOEFL iBT®」の受験者情報等が含まれます。

出願時期

各大学の出願時期は、大学それぞれに設定しています。下表の通り、もっとも早い出願は6月末前後です。下表A群及びB群は、「第一回日本留学試験」のスコアのみを合否判定の対象としますので、A群及びB群に属する大学を志望する場合は、「第一回日本留学試験」

の得点が非常に重要になります。

また出願時期までに「TOEFL iBT®」のスコアも各大学が設定する基準点にまで引き上げておく必要があります。一方、国立大学を中心とするC群及びD群に属する大学は、10月以降に出願時期を設定しており、「第一回日本留学試験」と「第二回日本留学試験」の両方を

TYPE	出願時期	主な大学	備考
A群	6月末以前	早稲田	「第一回日本留学試験」のみ 6月時点で「TOEFL iBT®」スコア必要
B群	8月・9月	明治(文・商・総合数理)・学習院・法政(前期)・同志社(前期)・立命館(前期)・関西学院・関西(文系)	「第一回日本留学試験」のみ 8月～9月時点で「TOEFL iBT®」スコア必要
C群	10月・11月	京都(経済)・九州・横浜国立(都市科学)・慶應・上智・明治(B以外)・立教・中央・同志社(後期)・立命館(後期)・関西学院(後期)・関西(理系)	「第一回日本留学試験」及び「第二回日本留学試験」いずれかを対象に選抜 出願時点で「TOEFL iBT®」スコア必要
D群	12月以降	東京・名古屋・京都(工・農)・大阪・北海道・東北一橋・東京工業・横浜国立(経営・経済・理工)	「第一回日本留学試験」及び「第二回日本留学試験」いずれかを対象に選抜 出願時点で「TOEFL iBT®」スコア必要

※大学によっては受験年以前の「日本留学試験(EJU)」の成績を選抜対象とする場合があります。出願時期、選抜方式等は予告なく変更される場合があります。

選抜方式

日本の大学の合否判定基準は、下表の通り、大きく3つに分類できます。

A群の大学は、出願時に提出された書類のみを合否判定の材料としており、個別の二次試験は実施されません。ですから前述の通り、A群の大学では出願時に提出された、高校での成績、志望理由書

やエッセーに記載された内容、日本留学試験やTOEFL等の得点などを基準に合否が判定されます。

一方、B群及びC群に属する大学は、大学個別の二次試験受験を義務付けています。ここでは、小論文や面接試験を義務付けるB群と、科目試験受験を義務付けるC群の2つに分類しています。

TYPE	選抜方式	代表的な大学
A群	書類選考のみで合否を判定 ※二次試験を実施しない	早稲田(政治経済・人間科学)・慶應(経済・法) 明治(経営・商)・立教(全学部)
B群	書類選考に加え、二次試験に小論文・面接試験を課す	東京・名古屋・九州・北海道・慶應(A以外)・上智・明治
C群	書類選考、小論文・面接試験に加え、筆記試験を課す	京都・大阪・東京工業・早稲田(理系)

※学部・学科、入試区分によって異なる場合があります。

武蔵野大学推薦制度

日々の学習態度が良好で、日本留学試験で一定以上の成績を修めた優秀な学生を対象に、武蔵野大学への推薦制度を提供しています。



【武蔵野大学の特長】

武蔵野大学は、1924年創立の仏教系の大学です。キャンパスは東京湾を臨む「有明キャンパス」と西東京市にある「武蔵野キャンパス」の2か所です。学部は13学部21学科、大学院は13研究科16専攻を設置する総合大学です。約1万人の学生が在籍し、30か国・地域、876名が留学生です。(2024年5月現在)

学部進学 各コースの学習進捗イメージ

学部進学コースは、入学時の日本語能力及び志望大学の難易度に合わせて、3つ学習期間を準備しました。あなたの学習進捗に合わせて、最適な日本留学をプランしてみましょう。

スケジュール	2025年												2026年												2027年			
	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr			
試験			第一回EJU	JLPU TE				第二回EJU	JLPT						第一回EJU	JLPT				第二回EJU	JLPT							
1年課程	EJU短期集中		EJU受験	弱点克服		EJU短期集中		EJU受験	二次試験対策																			
	※設置計画 (10月入学 0.5年課程 / 1年課程)																											
							入学						※進学							※進学								
1.5年課程							日本語学習JJLM						EJU短期集中	EJU受験	弱点克服		EJU短期集中		EJU受験	二次試験対策					志望校入学			
2年課程	日本語学習JJLM						EJU短期集中	EJU受験	弱点克服				EJU短期集中	EJU受験	弱点克服		EJU短期集中		EJU受験	二次試験対策					志望校入学			

● 4月生 / 1年課程

入学時の日本語能力が上級程度の学生を対象として、入学後すぐに6月EJUへの短期集中対策をし、夏期は弱点の克服に特化、そして11月EJUに向けさらに仕上げ、二次試験対策をします。最短で学部への進学を実現。※入学時に上級程度の日本語能力に満たない場合は、1.5年課程または2年課程を選択。

● 10月生 / 1.5年課程

入学時の日本語能力が初級程度の学生を対象に、約半年間のJJLM基礎日本語学習から始め、翌年4月より、6月EJUへの短期集中対策をします。夏期は弱点克服に特化し、11月EJUに向けさらに仕上げ、二次試験対策をします。効率よく日本語学習を進めることにより、18か月で日本の学部への進学を実現。

● 4月生 / 2年課程

入学時の日本語能力が初級程度の学生を対象に、JJLM基礎日本語学習から始め、9月よりEJU対策に移ります。EJUを3回受験することができるため、集中対策と弱点克服の積み重ねによる高得点を目指します。難易度の高い学部への進学をより着実に実現。

大学院進学指導

大学院（修士・博士課程）に留学するためには、大学院で研究したい学問テーマを明確に定めることが最も重要。通常は大学で学んだ専門領域をさらに深掘りする方向で志望領域を決め、その専門分野にふさわしい日本の大学の研究室を選択し受験を進めるのが一般的。

しかし、大学学部で日本語を専攻してきた学生の場合は、大学院留学に際し、日本での就職を意識し、新たな専攻領域を選択するケースも想定されます。その場合でも、ある程度の専門領域の知識を身につけないと、いわゆる一流大学の大学院には進学できないので、事前に十分な準備が必要であると言えます。

「MJJ」では初級から上級までの日本語学習はもちろん、志望する大学・研究室の情報提供、研究室教授とのコンタクト、専攻テーマに合わせた「専門日本語の学習」や大学院での研究計画を記した「研究計画書の書き方学習」、さらに大学院毎に実施される「小論文試験対策」や「面接試験対策」などを日本人教師が提供します。

大学院進学 指導内容

●日本語能力試験 N1 講座

大学院進学の日本語基準は日本語能力試験 N1 が標準です。私共の別科では大学院進学を目指す学生に N1 対策授業を提供しており進学前年の 7 月試験で N1 取得を指導しています。

●研究計画書作成指導

大学院進学時に不可欠なことは大学院進学後何を研究するのかを早期に決める事。大学院では学部で学習した内容をさらに深める為に関連するテーマを選択するのが一般的。テーマが定まったら、先行研究事例や関連書籍を読み込み、テーマを計画書にまとめていきます。

●研究室探索

研究計画書の作成と並行して、研究テーマを研究する研究者の探索を進めます。その先生に直接コンタクトを進め、指導教官となる先生とのコミュニケーションを進めます。

●受験対策

指導教官が決まったら、その大学のアドミッションを確認し、受験への準備を進めます。専門的な筆記試験や口頭試問など、独自の試験対策が必要となります。

※専門的な試験対策授業の提供はしていません。

大学院進学 各コースの学習進捗イメージ

大学院進学コースは、入学時の日本語能力及び志望大学院の難易度に合わせて、3 つ学習期間を準備しました。あなたの日本語学習進捗に合わせて、最適な日本留学をプランしてみましょう。

シラブル	2025 年												2026 年												2027 年			
	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr			
試験				JLPT 第一回					JLPT 第二回							JLPT 第一回					JLPT 第二回							
1年課程	上級日本語指導 研究内容・教授探索			N1 JLPT 受験	研究計画書指導 専門科目指導		大学院出願・ 受験									志望校入学												
	※設置計画中 (10月入学 0.5年課程 / 1年課程)																											
							入学							進学								進学						
1.5年課程							JJLM 日本語学習							上級日本語指導 研究内容・教授探索		N1 JLPT 受験	研究計画書指導 専門科目指導		大学院出願・ 受験						志望校入学			
2年課程	JJLM 日本語学習			N2 JLPT 受験										上級日本語指導 研究内容・教授探索		N1 JLPT 受験	研究計画書指導 専門科目指導		大学院出願・ 受験					志望校入学				

●4月入学 / 1年課程

入学時の日本語能力が上級程度の学生を対象に、大学院入学の基準である「日本語能力試験 N1」の対策等により、7 月試験での N1 取得を目指します。並行して、研究内容を突き詰め、最適な大学院・研究室の探索、指導教授へのアプローチ、研究計画書を仕上げ、入学試験等の対策をします。最短で大学院への進学を実現。※入学時に上級程度の日本語能力に満たない場合は、1.5 年課程または 2 年課程を選択。

●10月入学 / 1.5年課程

入学時の日本語能力が初級程度の学生を対象に、約半年間の JJLM 基礎日本語学習から始め、大学院入学の基準である「日本語能力試験 N1」の対策等により、7 月試験での N1 取得を目指します。並行して、研究内容を突き詰め、最適な大学院・研究室の探索、指導教授へのアプローチ、研究計画書を仕上げ、入学試験等の対策をします。効率よく日本語学習を進めることにより、18 か月で日本の大学院への進学を実現。

●4月入学 / 2年課程

入学時の日本語能力が初級程度の学生を対象に、JJLM 基礎日本語学習から始め、まずは 7 月試験で N2 取得を目指し、その後大学院入学の基準である「日本語能力試験 N1」の対策等により、12 月試験での N1 取得を目指します。並行して、研究内容を突き詰め、最適な大学院・研究室の探索、指導教授へのアプローチを進め、研究計画書を仕上げ、入学試験等の対策をします。JLPT を 3 回受験でき、日本語能力及び研究準備を着実に進め、より難易度の高い大学院への進学を実現。

募集要項概要

アドミッションポリシー

日本の高等教育機関への進学を目指し、明確な目標意識を持つ、高い勉学意欲を備えた学生を、世界各地から受け入れます。春入学は1年または2年、秋入学は1.5年の期間で、それぞれ全日制または半日制の教育課程を設けています。

全日制では、「学部」または「大学院」進学志望者を対象として、武蔵野大学をはじめとする日本の大学や大学院への進学のための「日本語」及び進学に必要な様々な学力・知識・教養を習得する予備教育を行い、外国人留学生入学試験等の合格を目指します。

半日制では、「武蔵野大学別科（介護福祉士養成課程）」への進学のための「日本語」を中心に予備教育を行い、進学を目指します。

・全日制

学部（文系）進学コース：日本語教育及びEJU文系科目等の教育（必修）、面接及び小論文等の二次試験対策（選択）

学部（理系）進学コース：日本語教育及びEJU理系科目等の教育（必修）、面接及び小論文等の二次試験対策（選択）

大学院進学コース：日本語教育及び研究計画書等の教育（必修）、面接及び小論文等の二次試験対策（選択）

・半日制

専門課程進学コース：本学別科（介護福祉士養成課程）進学のための日本語教育（必修）及び試験対策等（選択）

入学期		2025年 4月生		2025年 10月生	
募集人数		50名		40名	
コース		全日制	半日制	全日制	半日制
		学部進学（文系） 学部進学（理系） 大学院進学	専門課程進学	学部進学（文系） 学部進学（理系） 大学院進学	専門課程進学
出願期間	1期	2024年08月05日～2024年9月30日		2025年01月07日～2025年03月03日	
	2期	2024年10月01日～2024年11月25日		2025年03月04日～2025年05月12日	
	3期	2024年11月26日～2025年01月06日		2025年05月13日～2025年06月16日	
	4期	2025年01月07日～2025年02月24日 ※指定要件を満たす者		2025年06月17日～2025年09月01日 ※指定要件を満たす者	
課程		1年課程／2年課程		1.5年課程 ※0.5年課程／1年課程 設置計画中	
入学者選抜 判断基準等	日本語能力	N5程度／150時間程度学習歴 ※1年課程はN2程度／600時間程度学習歴推奨		N5程度／150時間程度学習歴	
	基礎学力等	本学が定めた高校成績基準／GPA基準			
	備考	提出書類に基づき、書類審査・面談を行い、総合評価により可否を判定します。面談では、勉学の意志や熱意、将来の計画性、経費支弁能力などを試問します。※その他試験を課す場合があります。			
出願資格	基準日程	2025年3月31日		2025年9月30日	
	年齢	18歳以上*		18歳以上*	
	学歴	12年以上*		12年以上*	
	備考	*基準日に年齢・学歴要件に達しないが、学部／大学院進学時に、年齢・学歴要件を満たす場合や、中国の大学専科（大専）、フィリピンの大学学部等、一部学歴年が不足する場合は、出願前にご相談ください。			

※募集要項は本別科のWEBサイトにてご確認ください。

出願方法

● 検定料

25,000 円

● インターネット願書・出願書類

「武蔵野大学別科（日本語教育課程）」公式サイト（bekka.musashino-u.ac.jp）で「入学試験要項」を確認し、「インターネット出願」ページ（bekka.musashino-u.ac.jp/entry/）より、出願手続きをしてください。個人情報、必要書類（PDF）データの登録、入学検定料の支払いにより、出願は完了となります。※事前に「志望理由」と必要書類（PDF）データを全て揃えてから、出願手続きを始めてください。一時保存はできません。必要書類全てにおいて、受験生の氏名が一致している必要があります。※詳しくはメール（info@bekka.musashino-u.ac.jp）または募集事務局に電話で問い合わせください。

インターネット
出願ページ



学費等

項目	春入学（4月入学）		秋入学（10月入学）	
	支払期限	金額（円）	支払期限	金額（円）
入学金	入学許可時	200,000	入学許可時	200,000
学費 （全日制）	1回目	入学許可時	入学許可時	500,000
	2回目	同年8月頃	翌年2月頃	500,000
	3回目	（2年課程）翌年2月頃	翌年8月頃	500,000
	4回目	（2年課程）翌年8月頃	-	-
保険料	入学許可時	1年課程	入学許可時	33,000
		2年課程		
納入金額合計	1年課程	1,220,000	1.5年課程	1,733,000
	2年課程	2,244,000		

※上記費用の他、教材費（コースにより異なる）、寮費（部屋タイプにより異なる）、事務手数料等が必要です。また、各種試験の検定料、受験校の検定料等が別途必要となります。

※保険は、学校生活など日常生活のケガから、旅行・スポーツなどのレジャー中のケガまで、幅広い保証をご提供します。ご加入内容に応じて、ケガだけでなく病気や日常生活における賠償責任も補償します。保険料は変動する場合があります。

※半日制の学費は上記全日制の50-60%となります。

在留資格・ビザ

入学に際し「留学」等の就学できる在留資格を有しない者は、在留資格認定証明書交付申請をします。申請書類等（募集要項に記載）は準備に時間を要するため、出願時に併せて提出することを推奨します。尚、在留資格認定証明書が不交付の場合や、ビザが発給されない場合は、入学することはできません。

学生寮

学業への集中、学習効率の最大化を図るため、指定寮への居住を原則としています。

ネット・家具・家電が標準で装備されており、ワンルームタイプやシェアタイプ等の種類があります。

※部屋のタイプや費用、規則等は入学手続き時に案内します。

世界の幸せをカタチにする。

Creating Peace & Happiness for the World



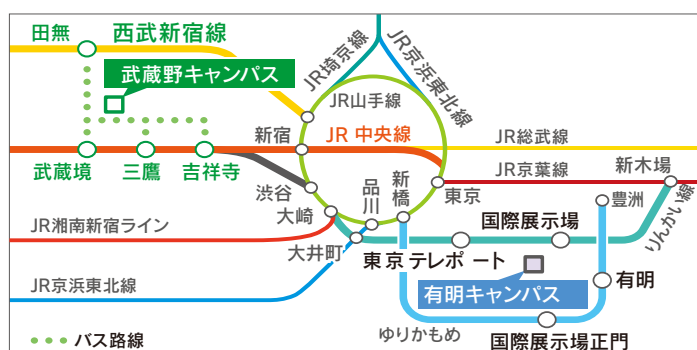
Musashino University

武蔵野大学

bekka.musashino-u.ac.jp



東京都西東京市新町1-1-20
武蔵野大学武蔵野キャンパス内



〈最寄り駅から武蔵野キャンパスまでのアクセス〉

路線	最寄り駅	アクセス
JR中央線	吉祥寺駅	北口1番乗場よりバス15分「武蔵野大学」下車すぐ
	三鷹駅	北口3番乗場よりバス10分「武蔵野大学」下車すぐ
	武蔵境駅	北口3番乗場よりバス7分「武蔵野大学」下車すぐ ※平成27年8月16日よりのりばが変更になりました
京王井の頭線	吉祥寺駅	北口1番乗場よりバス15分「武蔵野大学」下車すぐ
西武新宿線	田無駅	徒歩15分 北口5番乗場よりバス5分「至誠学舎東京前」下車 徒歩5分
	ひばりヶ丘駅	南口1番乗場よりバス20分「至誠学舎東京前」下車 徒歩5分

お問合せ先

✉ E-mail info@bekka.musashino-u.ac.jp

東京事務所 東京都港区芝大門1-6-5 +81-3-4216-0207

上海事務所 上海市长寿路652号E座5楼 +86-21-5204-9715

台北事務所 台北市中正区羅斯福路1段10號3樓 +886-2-2393-0220

香港事務所 香港九龍觀塘鴻圖道57號南洋廣場605室 +852-3153-1433

フィリピン事務所 Unit 3E, Osmeña Building, 1991 A. Mabini Street, Barangay 701, Malate, Manila +63-8347-3023